

さいなら原発・ びわこネットワーク

ニュース第 50 号
2021 年 3 月 11 日
滋賀県大津市仰木の里
5 丁目 5 番 4 号 稲村 守 方
TEL080-5713-8629
E-mail:sinamu2002@yahoo.co.jp

老朽原発うごかすな！と湖国にひびく市民の声

3.6 原発のない社会へ 2021 びわこ集会に 500 人

3. 1 1 以降 10 年が経過した。原子力緊急事態宣言はもちろん解除されていない。3 月 7 日肌寒いびわ湖畔に、びわ湖を守ろう、原子力発電は許さないと「原発のない社会へ 2021 びわこ集会」に、500 名の市民が集まった。

午前中は大津市生涯学習センターで、朝 10 時から末田一秀さんの「関西電力原発マネーの不正還流事件」講演会や、福田章典医師による「安定ヨウ素材の使用説明会」、福島から避難された青田恵子さんによる布絵展示会が開かれた。

午後は、場所を変え屋外の膳所城址公園でせやろがいおじさんのトークショーで始まった。あつというまの 1 時間で、特にオリンピック・パラリンピック組織委・森元会長の発言など人権に鋭く切り込んだ熱弁だった。



<美浜・高浜の老朽原発うごかすな！><せやろがいおじさんが沖縄から登場><関電前！>

続く決起集会の開催。実行委員会の峯本敦子・呼びかけ人の司会で、畑明郎・呼びかけ人の主催者挨拶・3.11 犠牲者への黙祷の後、嘉田由紀子参議と米原市長の来賓挨拶を受け、井戸謙一弁護士基調報告。トリチウム水の海洋投棄、フレコンバッグ等の汚染土の自治体での使用などの更なる被害の拡大の流れ。一方裁判所の流れも、今年の 12. 4 大阪地裁判決は、閑職的裁判官から現職エリート裁判官の判決ということで、反原発のうねりが大きくなってきたことを物語ってきている。関電不正マネー問題も原発がこのような不正利権構造を持つものことが益々明らかになってきた。

また、関西原発賠償訴訟原告団員でもある福島からの避難者の佐藤勝十志さんは、「トリチウムなどの海洋放出は国際条約で禁じられている」と報告。ますます、福島状況を広げていくと報告された。集会アピールの提案採択とデモ注意、ミニプラカードのパフォーマンスを受け、野坂昭生・呼びかけ人の閉会挨拶では、3.20 高浜現地全国集会にぜひとも多くの滋賀からの参加者を募り、高浜 1.2 号機、美浜 3 号機を廃炉にしようとして力強い挨拶で集会を閉めた。

その後、「老朽原発うごかすな！」の横断幕や色とりどりののぼりを掲げ、関電滋賀支社ビル前を通過するデモ行進が行われ、道行く人の注目を集めた。

(さいなら原発・びわこネットワーク 井沢 清)

3.20 関電よ❌老朽原発うごかすな！高浜全国集会

に参加を！ 大津駅前から配車します。ぜひご一報ください！若狭の原発全廃のチャンスです！

(裏に続く)

びわこ集会の翌日：3 月 7 日、急に「テロ対策施設が完成したので再稼働する！」

との関電の勝手な通告！緊急抗議行動に参加。真ん中の丸い小さな原発がこの日再稼働した高浜 3 号機。真ん中が老朽・高浜 1 号機、向かって右手が同老朽 2 号機。



高浜原発前での抗議行動の後、東舞鶴の地域で 3.20 高浜現地全国集会と老朽原発の危険性を訴えるチラシを各戸配布し、舞鶴で開催された反原発市民集会のあとの J R 西舞鶴駅前近くの新緑地での大通り沿いのスタンディングに参加しました。(I)

